



岳南會二工一社

臨時号

発行
令和3年4月15日
長野県野沢北高等学校
岳南会
TEL 070-4306-5364
FAX 0267(63)5290
印刷 KAN-PRO

岳南会は太平洋戦争終戦の翌年、昭和二十一年に旧来の会則を改めて新たに発足しました。以来本年で七十五年の歴史を刻みます。この間、本会は黒沢富次郎初代会長から高見澤俊雄前会長まで六人のそうそうたる先輩会長のご尽力のもとで、その結束力と母校への物心両面にわたる支援において、他に抜きんでた同窓会として確固たる地歩を築いて参りまし

去る一月五日の総会におきまして皆様にご承認いただき、第七代会長に就任いたしました吉岡徹でございます。五十七回卒、出身は佐久市大沢です。

吉岡 岳南会会長

(第5回)

を振り返りますとき、会長職の任の重さを改めて痛感いたします。まさに身の引き締まる思いであります。

さて母校は本年、開校百十周年という誇るべき節目の年を迎えます。慶賀の至りであります。来る十月二十三日（土）に予定されております記念式典・行事に向けた準備も着々と進められています。各界で活躍中の同窓生諸氏による記念フォーラム（公開討論会）という、在校生諸君が大いに樂しませうな企画も用意されています。

一方で、母校は開校以来最大の課題に直面しております。

それは皆さんすでにご承知のとおり、母校と野沢南高との統合問題です。これは昨年三月、少子化の現状と将来を見据えた高等学校の再編・統合計画の一環として長野県教育委員会より正式発表されたも

のです。この統合の意味は、單に現在の両校が合流し一校になるという単純なことではありません。計画の眼目は、佐久地域の普通科高校の拠点校として新しい高等学校を創設し、野沢北・南両校はその新校に発展的に移行していくということになります。

千載一遇のチャンスであると思つております。

私たちは再編検討委員会を中心、会員の皆さんを始め地域の皆さんとの事業に対する様々なご意見、ご要望を集約しながら、学校を強力にバックアップし、素晴らしい新校を創設すべく力を致していきます。

地域からも高い資質を持つ生徒を集め、その学力と能力をしつかり伸ばし、未来社会のリーダーを目指す大きな志を持つ若者へと育て上げて、それぞれの希望する進路へと送り出す、こうした壮大な使命を持つ佐久地域の中心校となります。この意味で新校創設は佐久地域の高等教育百年の計をもつて臨むべき一大事業であり

佐久地域の中心校となります。この意味で新校創設は佐久地域の高等教育百年の計をもつて臨むべき一大事業であります。

この県教委の方針に対しましては、本会はすでに昨年、前向きに受け止め積極的に関わつていくことを表明しております。これから本格的にこの容易ならざる事業に、母校そしてわたくしたたち岳南会も取り組んで

行くことになります

自らの学びの場であり、多くの友と青春を謳歌した母校がその姿(校地、校舎、校名、校歌

etc.)を変えていくことに、寂しさを交えた感慨を禁じ得ません。しかし私はこの新校への移行は、母校がより大きくなり充実した高等学校として、装いをそして何より覚悟を新たに、未来に向かつて出発する千載一遇のチャンスであると思つております。

私たちは再編検討委員会を中心、会員の皆さんを始め地域の皆さんとのこの事業に対する様々なご意見、ご要望を集約しながら、学校を強力にバツクアツブし、素晴らしい新校を創設すべく力を致していきます。

最後に私は、五人の副会長さんをはじめ代議員の皆さん、事務局の皆さん、そして全ての同窓会員の皆さんのご助言、ご助力をいただきながら、先頭に立つて当面するこの新校創設を始め、岳南会としてなすべき事業の遂行に邁進して参りますことをお誓い申し上げまし

てご挨拶といたします。

どうぞよろしくお願ひ申し

て挨拶いたします。
どうぞよろしくお願ひ申し
上げます。

野沢南と再編統合へ、検討本格化

新しい校地に、新しい校舎を!!

【再編・整備計画】一 次』とは?



◇これまで岳南会では、二〇〇九年（平成二十二年）十一月に『岳南会中高貫教育研究委員会』を設立し、併設型中高一貫教育の導入に向けて、学校の協力を得ながら関係各方面への働きかけを行つてきました。

◇しかし、その実現が停滞する間、佐久地区の中学校卒業予定者数の減少は次第に顕著となり、第二期高校再編という新局面の対応へと流れが加速することとなりました。

県教委はこの計画書の中で、第一期再編計画終了の二〇一七年から二〇三〇年まで、佐久地区の中学校卒業予定者は二〇四七人から、五〇六人まで、541人（13学級分）減少し、佐久市内普通高校（野沢北・野沢南・岩村田）は現在の5学級規模を維持できなくなるとして高校再編の必要性を説明、次の2点を具体的に示しました。

他方、野沢北高校が再編対象校となる可能性の高くなつた二〇一九年十月同窓会は『岳南会中高一貫教育研究委員会』を『岳南会再編検討委員会』に改組し、高校再編とともになう野沢北高校の将来像を新たに構築し、岳南会の意思を形成する活動に注力することとしました。これまでに代議員会、総会で承認された内容は次の五項目です。

一、新校は、百二十年の伝統に培われた豊かな人間性の涵養と高い学力の伸長を是とする校風を受け継ぎ、

「卓越した探究的な学び」を推進して、引き続き高い進路希望を持つ中学生の期待に応える教育活動を根幹に据える。

二、新校は、交通の利便性に配慮して「新しい校地、校舎」に創る。

三、公立2校（屋代・諏訪清陵）の併設型中高一貫教育の検証を県教委に求める。

四、野沢南高校同窓会とは、再編・整備に向けて意思疎通を図つて、将来像を考える地域の協議会（会長柳田清一佐久市長）の答申を基に、県教委が二〇二〇年六月、七月の二回にわかつて佐久地区住民説明会を開催して確定してきた経緯があります。

（1）旧第6通学区（佐久地域）高校再編概要

- ◇小諸商業高校と小諸高校を再編統合し、普通科・音楽科・商業科を置く、地域活性化の拠点となる新しいタイプの高校をめざす。
 - ◇野沢北高校と野沢南高校を再編統合し、『卓越した探究的な学び』の拠点とし、『時代の最先端に触れ、地域・世界の未来を牽引するリーダー育成校』としていく。
- （2）今後の日程
- ◇地元識者及び関係者による『新校再編実施計画懇話会』を設け、『再編実施基本計画』の決定に向けた意見交換を行う。（2020年12月～2021年末まで10回程度予定）
 - ◇県教育委員会で『再編実施基本計画』を決定する。（2022年2月）
 - ◇『再編実施基本計画』の県議会同意後、統合新校の開校準備に入る。（2022年4月～）

■長野県教育委員会の動き

長野県教育委員会は、少子化の進行と新しい教育課題に対処するため、有識者の審議・答申を踏まえ、二〇一七年以降、様々な将来構想を発表して地元説明会を開催してきました。特に二〇二〇年九月に発表された『再編・整備計画』〔次〕については、二〇二〇年一月の『佐久地域の高校の将来像を考える地域の協議会』（会長柳田清一佐久市長）の答申を基に、県教委が二〇二〇年六月、七月の二回にわかつて佐久地区住民説明会を開催して確定してきた経緯があります。

岳南会の対応

他方、野沢北高校が再編対象校となる可能性の高くなつた二〇一九年十月同窓会は『岳南会中高一貫教育研究委員会』を『岳南会再編検討委員会』に改組し、高校再編とともになう野沢北高校の将来像を新たに構築し、岳南会の意思を形成する活動に注力することとしました。これまでに代議員会、総会で承認された内容は次の五項目です。

一、新校は、百二十年の伝統に培われた豊かな人間性の涵養と高い学力の伸長を是とする校風を受け継ぎ、「卓越した探究的な学び」を推進して、引き続き高い進路希望を持つ中学生の期待に応える教育活動を根幹に据える。

二、新校は、交通の利便性に配慮して「新しい校地、校舎」に創る。

三、公立2校（屋代・諏訪清陵）の併設型中高一貫教育の検証を県教委に求める。

四、野沢南高校同窓会とは、再編・整備に向けて意思疎通を図つて、将来像を考える地域の協議会（会長柳田清一佐久市長）の答申を基に、県教委が二〇二〇年六月、七月の二回にわかつて佐久地区住民説明会を開催して確定してきた経緯があります。

《岳南会再編検討委員会委員》

委員長	篠原秀郷（第65回）
副委員長	柳澤重也（第60回） 木内美穂（第71回）
委員	井出亮（第57回） 小林忠三（第60回） 田原実夫（第60回） 青柳淳（第68回） 篠原節子（第68回） 吉岡道明（第68回）
参与	吉岡徹（第57回）

現在、県教委は再編実施計画の策定にあたって統合校や地域の意見を聞くため、『新校再編実施計画懇話会』（吉岡道明座長・第68回）を開催しています。今後は、同窓会代表委員（吉岡徹）を反映させていくことになります。

「新しい校地、校舎」をはじめ、新校設立までには乗り越えなければならぬ課題が山積しています。

再編検討委員会は、これからも岳南会の合意を図り、未来を生きる子どもたちのために全力で母校を支援してまいります。

岳南会員の皆さんの積極的なご意見をお待ちしています。

創立百二十周年記念事業、計画すすむ

式典、祝賀会は今秋10月23日(土曜日)

- ◇ 本校は、一九〇二年(明治三十四年)の創設以来、今年いよいよ百二十周年を迎えます。時あたかも、野沢南高校との再編統合によって、近い将来『時代の最先端に触れ、地域・世界の未来を牽引するリーダー育成校』(県教育委員会)へと更に大きく飛躍しようとしています。
- ◇ この節目に、豊かな人間性と高い学力を育む進学校として、百二十年にわたり内外に幾多の優れた人材を輩出してきた歴史を想起し、若者たちが新たな未来に向かって進む糧となるよう、記念事業を実施したいと思います。

■ 計画決定まで

第一回 実行委員会(2019・11・13)

- 実行委員会の構成 同窓会・PTA・学校 計三十五名
- 記念事業の内容 式典・講演会・祝賀会【2021年10月】
- 記念誌発行 母校支援事業

第二回 実行委員会(2020・9・19)

- 実行委員会会則
- 総務・記念行事・記念誌の三部会設置
- 記念事業の内容 記念行事日程【2021年10月23日】記念フォーラムの実施
- 予算一、七五〇万円 母校支援事業(空調設備・備品購入)
- 予算一、七五〇万円 百周年記念事業特別会計・PTA会計
- 卒業生寄附金から繰入 岳澄会美術展の開催

<参加申込み>

出席する方は、下の要領で官製ハガキに記入の上、7月末までに申し込みください。
なお、祝賀会会費6,000円は当日会場で徴収します。

(宛先)

(文面)

〒385-0053

長野県佐久市野沢四四九一一
野沢北高校
岳南会事務局宛て

創立120周年
記念行事参加届

番号に○をしてください。
1、記念式典に参加する
2、記念フォーラムに参加する
3、祝賀会に参加する

お名前

回卒

ご住所 〒

TEL:

Mail:

記念事業の全体像

2021年10月23日(土) 12:00(受付開始)

記念式典 13:00~14:00 野沢北高校大体育館

記念フォーラム 14:10~16:30 野沢北高校大体育館

祝賀会 17:00~19:00 佐久グランドホテル

記念行事

『百年史』以後の20年間を記録

『百年史』の構成を基本

電子版作成、岳南会HPに掲載

2023年2月印刷・製本・配布(予定)

母校支援

教室空調設備(学習室・北1講義室)

学校要望の設備・備品整備

TV番組等の制作

記念式典や学校紹介番組の制作・放映
卒業生メッセージの制作

岳澄会美術展

第24回岳澄展
10月21日(木)~26日(火)野沢会館2F

なお、記念フォーラムでは『佐久の風土と北高、そして未来』をテーマに、次にあげた卒業生の皆さんにご参加をいただく予定です。

いで はく(第56回)	作詞家	日本音楽著作権協会会長
吉岡 忍(第63回)		日本ペンクラブ会長
佐々木剛史(第72回)	TLO	京都社長 京都大学特任教授
原 真人(第76回)		朝日新聞東京本社編集委員
小泉 修一(第78回)	脳科学者	山梨大学医学部教授
青木 理(第81回)	ジャーナリスト	
小木田順子(第81回)	幻冬舎新書編集長	

* 新型コロナへの対応

現在は、「普通通り記念行事が開催できる」ことを前提に準備を進めています。やむを得ず計画を変更する場合は、岳南会HPおよび電話、メールなどで速やかに連絡します。また、途中経過等につきましても同様に随時、お知らせします。

